

授業中における言語活動は「その子なり」から

学習前



学習後

その子なりの見
方や考え方を
もっている。

教師の役割

集団

つなぐ
もどす

新たなその子な
りの見方や考え
方をもつ。

引き出す

まとめる



個人



個人

ペア・グループ・全体による話し合い



言語活動における教師の役割



その1 引き出す

子どもは、その子なりの学習経験や生活経験がある。
認識は白紙ではない。

子どもが知っていること なぜ？ どうして？（疑問や驚き、矛盾）

子どもの内面をゆさぶり、**問題意識**を掘り起こすことで**必然性を生み出す**



その2 つなぐともどす

その子の意見や思いを、他の子へつなげてたり、再び、戻したりする。**同じ意見や立場から学習を深める働きかけ**を行う



その3 まとめる

学習のめあてにかえり、考えを整理し、今日の学びの**意味づけ価値づけ**をする。

